

PCSA アクションレポート（不正対策研究部会）

平成 29 年 8 月版

第 134 回不正対策研究部会

開催日時	平成 29 年 8 月 25 日（金） 午後 1 時～午後 3 時		
開催場所	PCSA 会議室		
出席人数	部員 9 名、日遊協参加者 2 名、メーカー参加者 1 名、オブザーバー 1 名、合計 13 名		
出席者	リーダー		
	松本 浩	株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー	
	サブリーダー		
	市川 忍	株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当	
	倉沢 隆志	株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当	
	松尾 武	運営推進部 遊技機流通支援・不正対策グループ マネジャー	
	梅野 唯行	株式会社合田観光商事 セキュリティ課 課長	
	春原 正愛	アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 監査室 係長	
	柏 信吾	アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 主任	
	徳永 正宣	株式会社チアエンタープライズ 総務部 法務課長	
	山本 謙	株式会社三永 業務推進課 係長	
	日遊協参加者 2 名		
	メーカー参加者		
	大庭 義樹 様	株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 セキュリティ対策室 室長	
	オブザーバー		
	高石 隆一 様	有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役社長	

1) ゴト被害アンケート7月について

アンケート回答 9 社。電波、油、糸付き、持ち込み、加工玉、変則打ちなどで、被害件数 26 件、被害額 ¥200,375-、警察への通報回数が 1 件、被害届申請が 1 件、被害届受理が 0 件となっている。変則打ちやドツキへの対応方法で注意や退店を伝えるタイミング、確認すべき事項、賞品交換の可否等について情報を共有した。

2) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 情報交換

スロットに使用されている封印バンドの備品供給について、行政からメーカーにセキュリティを担保する形での提供が求められている事案が説明、報告された。また、スロットのワンベットボタンの電気的な接触部分が、経年劣化で利きづらくなっている事例の報告がされ、各社へ注意喚起が為された。

3) 内部不正

前回から引き続き、内部不正の「設定漏洩」への対策がテーマ。具体的な下記事例への予防、対策等が話し合われた。また、次回の部会では、「設定を変更できる人（店長等）からの設定漏えいを防ぐ方法。またはリスクを減らすために何が出来るか」を具体的な事例を数例挙げて、それぞれどう対策したのか、又は考えられる防止策をアンケートする。

- 1：遊技台ドアの開閉履歴を見た従業員からの設定漏洩。
 - 2：リアルタイムに監視モニター経由で設定変更作業を見た従業員からの設定漏洩。
 - 3：過去の監視モニターの録画から設定変更作業を見た従業員からの設定漏洩。
 - 4：インカムからドア開閉の警報（ドア番号有り）を聞いた従業員からの設定漏洩。
- 番外5：同機種 of インカムでホールの無線を傍受してドア開閉の警報（ドア番号有り）警報を聞いて

4 次回開催

平成 29 年 9 月 15 日（金）

午後 1 時～3 時

PCSA 会議室

以上